

# 発 刊 の 辞

長崎大学経済学部の前身となる長崎高等商業学校は、明治38年（1905年）3月に設立され、9月から授業を開始しました。また、本学部は、平成7年（1995年）4月に、大学院経済学研究科を設置しました。本年度は、本学部の創立110周年、本研究科の創立20周年を迎えた節目となる年にあたります。

本学部の紀要である『経営と経済』は、長崎高等商業学校時代の長崎大正10年（1921年）4月に『商業と経済』として創刊され、昭和19年（1944年）6月に発行された第25年第1冊（当時の呼称）から現在の誌名に変更されました。本誌の発行母体も、最初は長崎高等商業学校研究館でしたが、その後数度の変遷を経て、昭和59年（1984年）から現在の長崎大学経済学会に引き継がれています。大正、昭和、平成にわたって、経済学、経営学、関連諸科学の研究成果を公表する場として、本誌は本学部教員の研究活動を支えてきたといえるでしょう。

これまで、本学部（長崎大学商科短期学部を含む）卒業生と本研究科修了生の数は合わせて約30,000名に及んでいます。これらの方々の多くが、在学時代、会員として本誌の発行を支えてくださいましたことに、改めて深甚の謝意を表したいと思います。

また、創立以来本学部・本研究科教壇に立たれた数多くの教員が、本誌を通じて、数々の業績を世に問われています。現在では、これらの成果のうち著作権処理を終えた本誌創刊以来の論文については、長崎大学の学術研究成果リポジトリ Nagasaki University's Academic Output Site（通称 NAOSITE）において、閲覧可能となっています。これら先学の残されてきたご貢献に対しましても、改めて敬意を表したいと思います。

現在の大学の教育研究に対する社会的要請はこれまで以上に厳しいものとなってきており、この使命の重大さを痛感しております。本記念論文集は現在の教員の研究上の成果の一端を世に問うたものであります。ここに広く学

界諸賢のご批判とご叱正を仰いで、学術研究の進展に寄与できますことを祈念するとともに、関係各位のご鞭撻とご支援をお願いいたしまして、発刊の辞とさせていただきます。

平成 28 年 1 月

長崎大学経済学部長・研究科長  
長崎大学経済学会長

岡 田 裕 正